

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス LUMO今津校		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	68	(回答者数) 56
○従業者評価実施期間	2026年 2月 3日		2026年 2月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 18日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して通所し、楽しく活動できている点 (満足度・通所意欲の評価が高い)	子ども一人ひとりの発達段階や特性を踏まえ、成功体験を積み重ねられる活動設定を行っている。できた経験を肯定的に振り返る関わりを大切に、自己肯定感や挑戦意欲につながる支援を意識している。また、子どもの興味関心を取り入れたプログラム構成とし、安心して参加できる雰囲気づくりに努めている。	個々の発達段階や課題に応じた活動の幅をさらに広げ、継続的に意欲向上につながる支援を行う。運動活動についても段階的な課題設定を行い、基礎的な身体づくりから学校生活につながる運動(跳び箱等)まで発展できるように、運動プログラムのパリエーション拡充を図る。
2	安全管理や事故対応について概ね安心感が得られている点	各種マニュアルを整備し、活動前後の安全確認や環境点検を日常的に実施している。職員間での声かけや役割分担を明確にし、事故や怪我が発生した際には速やかな連絡と状況説明を行う体制を整備している。また、リスクを未然に防ぐ視点を共有しながら支援を行っている。	避難訓練や安全対策の実施状況を定期的に保護者へ発信し、安心感の向上につなげる。ヒヤリハット事例の共有を強化し、職員間で再発防止策を検討する機会を継続的に設けることで、安全意識の向上と事故予防体制のさらなる充実を図る。
3	支援環境(構造化・清潔さ)について概ね良好な評価を得ている点	活動内容に応じた空間設定を行い、子どもが見通しを持って行動できるよう視覚的に分かりやすい配置を心掛けている。日常的な清掃や整理整頓を徹底し、安心して過ごせる環境維持に努めている。また、子どもの動線や集中しやすさを考慮しながら環境調整を行っている。	子どもの特性や活動内容の変化に応じて環境設定を継続的に見直し、より活動しやすい空間づくりを進める。感覚特性への配慮や集中しやすい環境調整を行い、安全性と過ごしやすさを両立した支援環境の充実を図る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援内容や活動状況が保護者に十分伝わりきっていない点	日々の送迎時の口頭報告や月1回の支援経過報告を中心としているため、活動場面の具体的な様子や子どもの成長過程が視覚的に伝わりにくく、保護者が実際の支援場面をイメージしづらい場合があると考えられる。また、見学機会が限られていることも要因の一つとなっている。	個人情報や安全面に十分配慮した上で、活動中の写真や動画の活用、活動内容の具体的な記録共有などを行い、支援の「見える化」を進める。あわせて、報告内容の統一を行い、保護者との共通理解をより深めていく。
2	個人情報の取り扱いに関する配慮への指摘	日常的な会話や情報共有の場面において、個人情報保護に対する意識や認識に職員間で差が生じる可能性があり、意図せず情報管理への不安を与えてしまう場合があると考えられる。	個人情報保護および守秘義務に関する研修を定期的に実施し、職員全体で取り扱い基準を再確認する。また、具体的な事例を用いた共有やチェック体制を整え、情報管理意識の統一と再発防止を図る。
3	避難訓練等の周知不足	避難訓練や安全対策は実施しているものの、その実施状況や内容について保護者への発信機会が十分ではなく、取り組みが伝わりにくい状況があると考えられる。	避難訓練や防災・安全対策の実施後に、LINE等を活用して実施内容を発信する。事業所の安全管理体制について保護者が安心できる情報提供を行う。